

大祓式のご案内

夏越大祓(なごしのおおはらえ)

日時:6月30日 午後5時

場所:「神明社」本殿前齋庭

大祓(おおはらえ)とは、日々の生活の中で、皆様が気付かぬうちに心身についた罪やケガレを祓い清めることにより、身も心も清清しく蘇り、各自の務めに勤しみ励む決意を固め、もって一家の幸福を願うための大切な神事です。

古代律令体制以来、宮中では6月と12月に大祓が行われており、それが民間に広まりました。特に6月の大祓では、悪疫退散を願う「茅の輪神事(ちのわしんじ)」も併せて執り行います。茅の輪神事とは、心身についた罪ケガレを、茅の輪をくぐる事により、その霊力を受けて祓い清め、もって無病息災を祈る神事です。

茅の輪神事の由来は、スサノオノミコトが諸国を巡られ「世に疫病あらば、茅の輪をもって腰上に着けしめよ、着けしめば、即ち家なるものまさに免れむ」と仰せられた故事によります。

どなたでもご参列できます。是非この神事にご参加戴き、心身の罪ケガレを祓い清めて、愈々お健やかに過ごして下さい。

形代(かたしろ)について

「人形代(ひとかたしろ)」

皆様が日々の生活の中で、知らず知らずの内に、心身についた罪ケガレを人形代に託して祓い清め、無病息災をお祈りするものです。人形代一体につき、ご家族お一人のお名前・生年月日・年齢を記入し、下記のイラストの要領でご自分を祓って下さい。

「車形代(くるまかたしろ)」

平素愛用されている車・単車・自転車等に、知らない内に降りかかった様々な禍事(まがごと)・罪ケガレを車形代に託して祓い清め、交通安全をお祈りするものです。車の運転者名と、車両ナンバーをご記入下さい。

人形代・車形代はそれぞれの申し込み用封筒に入れて、「大祓式」当日まで、受付にお渡し下さい。尚、その際は封筒の表にお忘れなく、ご住所・家族全員のお名前をご記入下さい。又、人形代・車形代の御初穂料は、お志しとさせていただきます。



1.人形にお名前・
生年月日・年齢を
記入する



2.頭から手足迄、
全身を撫でる。



3.最後に腹の底か
ら息を三度吹きか
ける。申込用封筒
に住所・氏名を記
入し人形代を入れる。

※ 人形代・車形代は社頭に用意しております。ご入用の際には、ご郵送も致します。

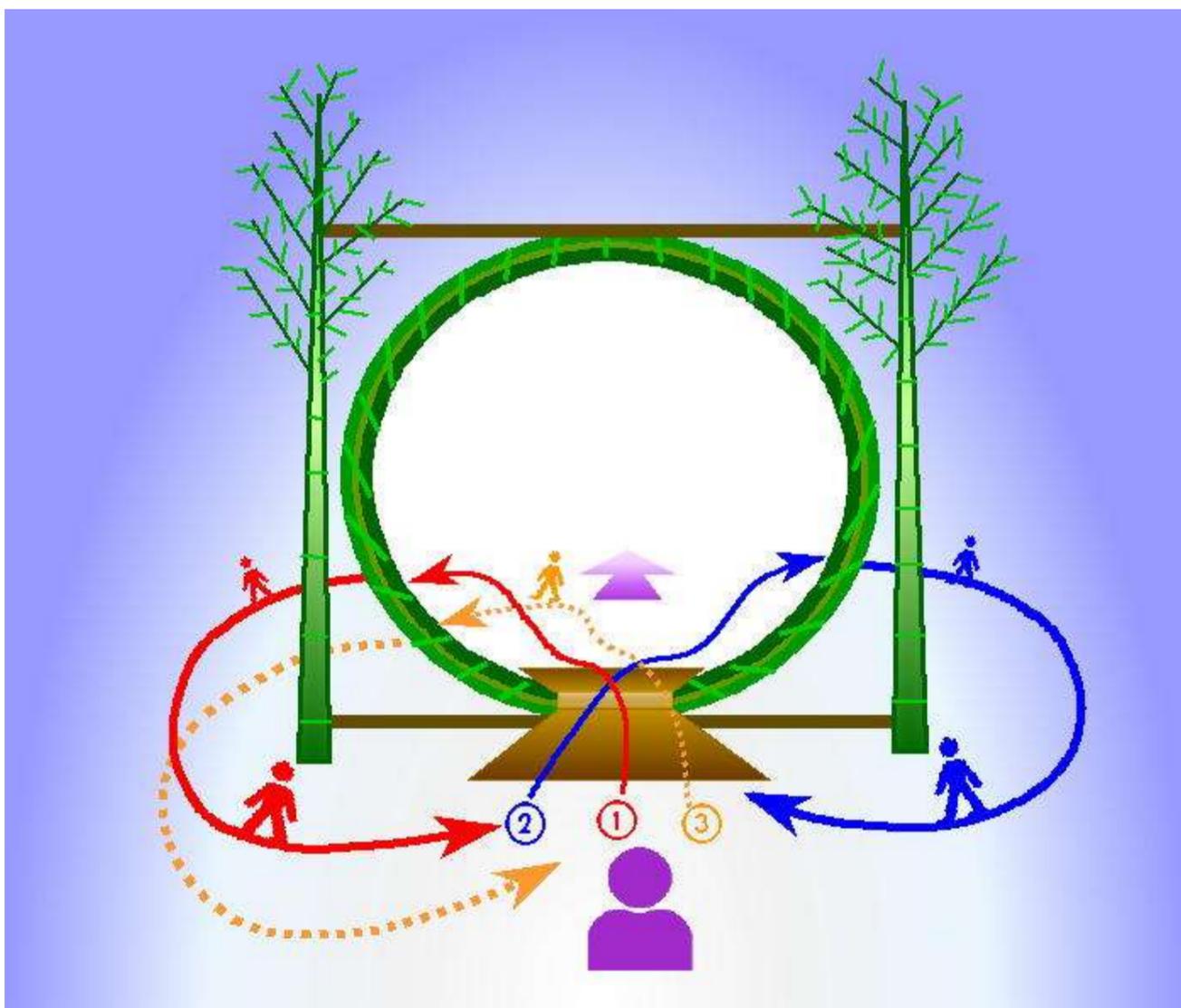
この人形代・車形代は、大祓の当日ご参列されます際にご持参下さい。

尚、当日ご参列が叶わない場合は、事前にご持参いただくか、初穂料を添えて郵送でも承ります。

茅の輪くぐりについて

茅の輪は6月29日頃から7月2日頃まで設置しております。

当日ご参列出来ない方も、期間中に茅の輪をくぐってお参りいただけます。



茅の輪くぐり

- ① 茅の輪をくぐり、左に回ります
- ② 次に " 右に回ります
- ③ 次に " 左に回ります
- ④ 最後に茅の輪をくぐり抜け
本殿にお参りします

『茅の輪をくぐる時の唱へ言葉』

例① みな月のなごしの祓する人は千年の命のふといふなり

例② 思ふことみなつきねとて麻の葉をきりにきりても祓ひつるかな

例③ 蘇民将来。蘇民将来。(繰り返して唱ふ)